

Matsuda



町議会サイトは
こちらから

 松田町議会だより

No.241
2026.2.1
(令和8年)



第4回定例会の概要……………	2
審議結果一覧……………	3
一般質問……………	4
研修報告ほか……………	9

第3回・第4回臨時会の概要ほか…	10
討論……………	11
住みやすい町を目指して⑥……………	12

令和7年 第4回定例会

会期 12月2日(火)～5日(金)

12/2	一般質問	中津川議員 (P4) 吉田議員・寺嶋議員 (P5) 井上議員・秋田谷議員 (P6) 北村議員 (P7)
12/3	一般質問	平野議員 (P7) 田代議員・武尾議員 (P8)
	議案審議等	議案11件(条例改正・補正予算ほか)
12/4	委員会審査	産業厚生常任委員会(条例)
12/5	委員会審査 議案審議等	総務文教常任委員会 委員会報告2件(条例)、議案3件(指定管理)、 同意1件 ほか

第4回定例会は、12月2日から5日までの4日間の会期で開催されました。一般質問のほか条例(一部改正)2件、他市町との協議4件、補正予算5件、指定管理の指定3件、同意1件を審議しました。

このうち、産業厚生常任委員会に「松田町寄自然休養村管理センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」、「松田町寄みやまグラウンドの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」を付託して審査をし、各委員会より本会議で報告があり、いずれも可決されました。

定例会の 審議の抜粋

条 例

▼議案57 松田町寄自然休養村管理センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

寄自然休養村管理センターの維持管理及び整備に要する財源を確保すると共に、地域振興を図るための条例の一部改正。産業厚生常任委員会に付託し慎重に審査を行いました。

審査の結果、適切なものであると判断し、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

本会議では申し入れをした委員会報告を行い、採決の結果、賛成多数で可決となりました。

▼議案58 松田町寄みやまグラウンドの設置及び管理に関する条例の一部

を改正する条例

寄みやまグラウンドの維持管理及び整備に要する財源を確保することにより、スポーツツーリズムの推進を図るための条例の一部改正。

産業厚生常任委員会に付託し慎重に審査を行いました。

審査の結果、適切なものであると判断し、賛成全員で可決すべきものと決定しました。

本議会では、委員会報告を行い、採決の結果、賛成多数で可決となりました。



寄みやまグラウンド

議案第57号 松田町寄自然休養村管理センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 産業厚生常任委員会報告(抜粋)

1. 審査の結果

採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2. 審査の内容

観光経済課長及び担当職員出席のもと、条例について、今後の利用見込み、同類施設の料金の比較等詳細な説明を受け、審査しました。審査の結果、適切なものであると判断しました。

なお、次の項目について申し入れをします。

- (1) 利用料金については、あくまで上限額であるので、実料金を設定する際には慎重に検討されたい。
- (2) 宿泊施設の利便性を高めるように備品等の充実を図られたい。
- (3) 料金の改定を行う際は、事前に十分な周知を図られたい。

議案第58号 松田町寄みやまグラウンドの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 産業厚生常任委員会報告(抜粋)

1. 審査の結果

採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2. 審査の内容

観光経済課長及び担当職員出席のもと、条例について、今後の利用見込み、近隣市町の料金の比較等詳細な説明を受け、審査しました。審査の結果、適切なものであると判断しました。

なお、料金の改定を行う際は、事前に十分な周知を図られたい。

第4回 松田町議会定例会審議結果一覧（12月議会）

○全員賛成で可決した議案

※南雲まさ子議長は採決には加わらない。

議案等番号	議案名等
議案59	小田原市と松田町との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止に関する協議について ◎証明書等の交付等に係る事務の委託を廃止することの協議
議案60	南足柄市と松田町との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止に関する協議について ◎証明書等の交付等に係る事務の委託を廃止することの協議
議案61	大井町と松田町との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止に関する協議について ◎証明書等の交付等に係る事務の委託を廃止することの協議
議案62	松田町と箱根町との証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止に関する協議について ◎証明書等の交付等に係る事務の委託を廃止することの協議
議案63	令和7年度松田町一般会計補正予算（第5号） ◎歳入では寄附金や基金利子の増額、歳出では特別会計への繰出金、健康福祉センター維持管理等負担金及び生涯学習センター、松田小学校、松田中学校の光熱水費増額などに伴う補正
議案64	令和7年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） ◎出産育児一時金の増額見込みなどに伴う補正
議案65	令和7年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第4号） ◎税制改正等に伴う介護保険料の標準段階に係る基準の見直しによるシステム改修などによる補正
議案66	令和7年度松田町上水道事業会計補正予算（第3号） ◎令和6年度寄簡易水道事業への貸付金に伴う貸付金利息収入、令和10年度に更新を予定している次期水道料金システムへの切り替え準備に係る追加負担金に伴う補正
議案67	令和7年度松田町寄簡易水道事業会計補正予算（第2号） ◎水道管の漏水修繕に伴う費用、上水道事業からの令和6年度借入金に伴う借入金利息、確定申告に伴う消費税及び地方消費税の納付額決定に伴う補正
議案68	松田町地域集会施設等の指定管理者の指定について ◎令和8年4月から令和13年3月まで、各自治会長を指定管理者に指定
議案69	松田町児童館等の指定管理者の指定について ◎令和8年4月から令和13年3月まで、各自治会長を指定管理者に指定
議案70	松田町やまびこ館の指定管理者の指定について松田町児童館等の指定管理者の指定について ◎令和8年4月から令和13年3月まで、寄自然休養村養魚組合を指定管理者に指定
同意 4	教育委員会委員の任命について ◎石川 純一氏 を再任

△賛成・反対があった議案

○…賛成 ●…反対 可…可決

議案 番号	議員名(議席順) 議案名等	審 議 結 果	北 村 和 士	武 尾 哲 治	吉 田 功	中 津 川 定 雄	秋 田 谷 光 彦	古 谷 星 工 人	平 野 由 里 子	田 代 実	井 上 栄 一	飯 田 一 正	寺 嶋 正
議案57	松田町寄自然休養村管理センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（産業厚生常任委員会報告）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●
議案58	松田町寄みやまグラウンドの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（産業厚生常任委員会報告）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

町では、一般質問の録画映像をYouTubeにて公開しています。

スマートフォン等をご利用の方は、各議員の2次元コードを読み取りご覧ください。パソコン等から視聴される方は「**松田町議会 YouTube**」と検索していただくと、ご覧いただけます。



松田町の未来につなげる 町政運営4期目の施策について



質問者

中津川 定雄 議員



今後4年間の町政運営に向けた所信が表明され、「これまでの確かな歩を止めない、未来に向けて継続」と強い意志で取り組む決意が示されました。そこで、所信にある「未来につなぐ公約」の具体的な施策について伺います。

質 「町民の命と生活を守る」における、再生可能エネルギーを活かした寄地区の孤立対策について。

答 既に寄地区内8箇所に太陽光発電設備を設置し、避難所の電力補助に加え、携帯電話などの充電スポットとして活用できるよう対策している。また、避難所となる寄小学校教育館には大型発電

機の設置を進めており、今後は大型蓄電池の設置も検討し、孤立しても地域全体で支えていくよう対策を進める。



太陽光発電設備

質 「賑わう松田」における、新松田駅周辺整備事業の強力な推進、公園や遊具の充実について。

答 都市計画決定を皮切りに再開発本組合の設立及び事業認可を目指すことになるので、引き続き町は準備組合と連携し着実に推進する。

公園や遊具については、子どもがより楽しくより安全に遊べ、高齢者の健康づくりや憩いの場としても利用できるよう公園環境を整えていく。

質 「稼ぐまちづくり」における、官民連携による町有施設の有効活用、川や水を活かした新たな事業の創出について。

答 町有施設をリニューアルし、機能強化を図ることにより更なる経費の軽減と収入増による新たな財源確保を目指す。水道事業の複合的な課題を克服するため、官民連携による水を活用した新たな事業の創出を図る。

引き続き未来
を見据えた
まちづくりに
取り組む

回答（町長）



松田町の政策について



質問者
吉田 功 議員



質 (一社) 足柄オンデマンドの会社の組織と経営状況について。

答 大学教授を理事長とし、12名で運営されている。車両の運行管理等については、タクシーやバス会社に委託されているため、この12名には含まれていない。町からの委託料を含めた収支は、令和5年度は実質6か月間の運行で、約2900万円のマイナス、令和6年度は年間3500万円のマイナス、令和7年度11月末での状況は、約1900万円のマイナスで、一年間では約2900万円のマイナスになる。補助金がなくなる令和8年には、これまでと同様では、年間6000万円

のマイナスと見込まれている。



のるーと足柄

「のるーと」には企業努力を期待している

A



回答 (町長)



健康福祉センター

質 収支の赤字部分について。

答 地方自治法上では、町が一般団体の債務を肩代わりすることはできない。サービスの向上をはじめとして、さまざまな展開をしてもらう等の企業努力を期待している。

質 健康福祉センターの指定管理者選定における社会福祉協議会及び関係団体への影響について。

答 現在の段階では、健康福祉センターのリニューアルの全体像ができていない段階なので、どのような影響が出てくるかまでは答えられない。

誰もが安心して暮らせる
持続可能なまちづくりに
ついて



質問者
寺嶋 正 議員



少子高齢化などによる人口減少を食い止め、誰もが安心して暮らせる持続可能なまちづくりを推進していくために、令和8年度の予算編成の考え方を伺う。

質 一般会計の予算規模はどのくらいになり、財源確保はどのようにされるのか。

答 大型の公共事業や国の臨時給付金などを除くと、毎年度約45億円前後を推移している。財源確保については、町有地の売却などや、スクラップアンドビルドの徹底のもとメリハリのある財政運営を進める。

官民連携事業を行う事による町負担の減額、水

子どもから高齢者と共に成長する町を推進

A



回答 (町長)

質 4期目の施策として「未来にツナグ8つの公約」を掲げているが、予算に盛り込む重点施策をどのように展開されるのか。



子育て支援センター

答 人口減少について引き続き危機感を持ち、未来を創る子どもや子育て世代への事業に重点を置き、持続可能なチルドレンファースト5年目の予算として、「こども子育て応援宣言」を基に、子どもから高齢者と共に成長する町を推進する。

駅周辺整備事業について



質問者
井上 栄一 議員



質 新松田駅北口地区の再開発に関して多くの意見が寄せられた。様々な影響の説明が不十分な中、都市計画決定を行ったのか。

答 都市計画決定縦覧で30人の意見を頂き、都市計画審議会で審議、承認され都市計画決定した。

質 商業・賑わい創出の市場調査、収支予測、テナント誘致の実証、完成後の効果測定計画は。

答 商業施設は、民間事業者が取得運営するため、町はテナントの誘致を行わない。町は基本構想等との整合性や町民ニーズへの貢献度について準備組合へ伝える。

A
再開発事業にかかる町の負担は、将来的な財政運営には支障がないようにしていく

回答（町長）



質 高層マンションの環境影響調査、検証は。

答 建物影響調査は県の条例に基づく環境影響評価における数値を下回るため評価不要であり、実施する場合は準備組合が行う。



事業説明会

質 再開発の都市計画案の縦覧は意見募集で行われ公聴会は開かなかったその理由は。

答 法律では「公聴会の開催等」と規定されている。町として、パブリックコメントや町民説明会を実施し、丁寧に行った。

高齢低所得者の生活維持と今後の松田町の観光資源の開発について



質問者
秋田谷 光彦 議員



質 国民年金だけで生活している高齢低所得者の生活維持や福祉について、特に生活が成り立たない単身高齢低所得者対策に生活保護制度だけではなく何かお考えをお持ちかお伺いします。

答 年間80万9千円以下の単身高齢者は全町で260人居られる。社会福祉協議会に松田町あんしんセンターを設置し、終活支援生活支援サービスのほか、総合支援や相談等を担って頂いている。人生100年の時代、なお一層高齢者が安心して暮らせるよう対応する。



社協の松田町あんしんセンター

質 新松田駅周辺整備事業も方向性が見えてきたと思いますが、そろそろ松田町の観光立町としての今後の立案を具体的に考える時期なのかと思います。特に寄地区の観光整備方策について何か考

A
高齢低所得者に一層の支援を

回答（町長）



えていられたら、お伺いしたいと思います。
答 寄管理センターを大規模改修し、飲食・宿泊・物販・休憩機能がある寄里の駅として目指し、周辺スポーツ施設のリニューアル工事を進める。テニスコート全面改修・市民農園内に駐車場整備みやまグラウンドの屋外トイレ建て替え、農家民泊と体験プログラムを充実させ、滞在型の観光客を呼び込み、寄地区の観光・スポーツの玄関口として賑わいが生まれるようにする。

松田町が子育て世帯に 選ばれるための方策について



質問者
北村 和士 議員



質 子育て支援の強化により、若い世代が親世代の近くに住める「子育て支援からはじまる高齢者福祉」の理念である「ドルレンファーストのもと、松田町では医療費や給食費の無償化など子育て支援が充実している一方、物価高騰や就労形態の多様化により、幼稚園での預かり保育制度が現状に合わなくなっているとの声があります。制度の見直しについて町の考えを伺います。

会環境は日々変化しているため、保護者アンケートを実施し、朝の一時利用を含めたニーズを丁寧に把握したうえで、安全管理や人員配置も考慮しながら、制度見直しを具体的に検討していく。

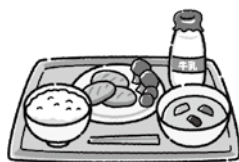
A 実態にあった幼稚園での 預かり保育制度に改善していく！



回答（教育長）

質 子育て支援を継続・拡充するには財源確保も欠かせないため、積極的に国の補助金や民間活力の活用を更に推進して頂きたいと考えますが、いかがですか。

答 将来を見据え、「稼ぐ自治体」として財政運営をしていく。



質 保護者の就労形態によつては幼稚園での預かり保育に費用負担が生じるために、町外へ転出する懸念もありますが、課題をどう捉えていますか。

答 幼稚園の教育方針や環境の魅力に加え、給食費無償化など町の支援策を分かりやすく発信していくことも重要だが、保護者の実情に沿った預かり保育制度へ改善することで、町外への転出を防ぐ。

新松田駅北口地区市街地 再開発事業の公共性及び 所信表明における協働



質問者
平野 由里子 議員



質 本事業には国県町から補助金が出されることになっている。駅前広場やペDESTリアンデッキなどに公共性があることは理解しやすい。一方、商業・公益施設・マンションを含む再開発ビルにも補助金が付くが、公共性があることに理解が進まない。本事業における「公共性、公共の福祉」とはどういうものか。

答 当地区の安全・利便性の強化、防災性の向上、賑わいの創出を通じて将来にわたり持続可能な都市環境にすることと考える。

質 賑わいに直結するスーパの誘致について。

答 組合が主体となつて進めるが町も連携協力する。既に相当数の事業者が興味を示しているが、今後はより具体的な協議を進めていく。

A 「持続可能なり まちづくりと 皆と一緒に 進める」

回答（町長）



質 再開発ビルの中の公益施設には子育て関連のものともう決まっているのか。

答 子育て関連を中心に検討しているが、まだ具体的には決まっていない。

い。広く意見を聞き、施設への付加価値について優先順位を踏まえ検討する。

質 平成29年度から20年間の構想を示す都市マスタープランでは、当地区は「中心地にふさわしい賑わいの創出・高度利用による都市機能の拡充」となっているが、このビジョンに沿って事業を行うことが、公共性と捉えてよいのか。

答 常に未来を見据え協働のまちづくりとして町民の皆様や議会と共に事業の実施に向けて歩むことが公共性の一つと考える。

質 町長の所信表明では8つの公約の推進のために必要なこととして「町民との協働」を挙げている。そのための具体的な施策は。

答 皆で考えて作り上げていく前提として情報共有をこれまで以上に重視し、様々な方法での発信を工夫する。

松田町における熊対策とジビエ処理 加工施設の今後の運営について



質問者
田代 実 議員



質 熊に襲われ死傷者が続出していることが社会問題となっています。松田町でも目撃情報が多く寄せられ、広報等で注意喚起をされていますが、熊の出没状況と被害はどの程度で、町民の身体を守る対策は。神奈川県では2006年のレッドデータブックにおいて、ツキノワグマを絶滅危惧種と位置付け狩猟者に対し狩猟自粛を呼びかけ保護をしていますが、この政策に対する町長のお考えは。

助の周知や餌となる放棄果樹を無くすため、放任果樹の伐採補助を行っていく。

県は、熊の適切な保全と人的被害防止の両立を図る方針で、緊急銃猟を自治体に委ね緊急時には殺処分ができるようになった。



熊スプレー

質 令和6年度「あしがらジビエ処理加工施設」の収支状況が出ましたので、今後の施設運営について行政の負担と、受益者負担を見直す時期と思いますが、町長のお考えは。



あしがらジビエ工房

A ジビエ工房は使用実態に合わせて見直しを行う

回答 (町長)



答 今後の施設運営は、工房の使用時間や残さ処理費用に課題があるため、使用実態に合わせた見直しを行っていく。

松田町へのカスタマーハラスメント対策の強化について



質問者
武尾 哲治 議員



質 住民への対応が増加、複雑化する中で職員がカスハラを受ける事案が全国的に報告されています。職員の精神的な負担となるだけでなく住民へのサービスの品質の低下、行政の停滞にもつながると考えられるがどの様にお考えか。

A カスタマーハラスメントの起こらない町に！

回答 (町長)



んどう。

質 「松田町不当要求行為等対応基本方針」に示されている対策を継続実施しながら、必要に応じて基本方針を見直す等の対応をしていき、職員の精神負担の軽減や職場環境の改善に努め、同時に職員のスキルアップも行い、今後も町民の皆様に対して行政サービスの低下を招くことがないよう引き続き行政運営に取組む。



役場窓口

質 面談室の設置や録音体制、窓口レイアウトの改善など物理的な安全確保策や訴訟費用などの予算立てについてのお考えは。

答 訴訟費用などについては具体的な予算立ては現在、検討していない。職員研修費については、毎年予算計上をしているので、その中でカスタマーハラスメントや接遇研修などは引き続き継続して職員の接遇向上を図りたい。

質 今後条例化を目指すお考えは。

答 条例化を考えるなら役場だけでなく町全体を含めた方が良く考える。町職員の質の向上も考えつつ理不尽なことに対応していかなければならない。お互い前向きな町になるよう進めていく。

議員参加研修等報告

▼第69回町村議会議長全国大会（全国町村議会議長会主催）

・日時 11月12日（水）
12時～14時30分
・場所 NHKホール
・内容 地方自治の精神と原則に立ち、住民自治に基づく個性と活力に満ちた町村の実現を期するため、各種要望、決議等を行いました。
議長出席。

▼自治功労者表彰式・町村議会議員研修会（神奈川県町村議会議長会主催）

・日時 11月21日（金）
13時15分～15時30分
・場所 仙石原文化センター
・表彰内容 県内町村議会議員6人が表彰（6年以上議長及び11年以上議員として地方自治の発展に功績のあった者）されました。

・研修会講師及びテーマ
京都大学名誉教授・元京都大学総長・前静岡県立大学学長 尾池 和夫氏
「地震を知って震災に備える～歴史から読み解く神奈川の未来」

▼議会広聴委員会研修会（足柄上郡町村議会議長会主催）

・日時 1月15日（木）
14時～16時
・場所 松田町役場4階AB会議室
・研修会講師及びテーマ
一般社団法人自治体広聴広聴研究所代表理事 金井 茂樹氏
「自治体議会の広聴活動」
議長及び議会広報広聴常任委員会の委員が出席。

▼議員研修会（松田町議会議長会主催）

・日時 1月19日（月）
9時～11時



・場所 松田町役場4階大会議室
・研修会講師及びテーマ
セツトアップコンサルティング代表 瀬戸 伸一氏
「松田町議会ハラスメント講習」

小田原市が本町を視察

10月2日に、小田原市議会の厚生文教常任委員会委員15名と執行部6名、議会事務局4名が、松田町を視察研修に訪問され、松田町立松田小学校（木の特性や魅力を活かした学校づくり）について視察をされました。



栃木県芳賀町が本町を視察

10月8日に、芳賀町議会の総務常任委員会委員4名と執行部1名、議会事務局1名が、松田町を視察研修に訪問され、町内の公共交通（AIオンデマンド）について視察をされました。



第3回 松田町議会臨時会審議結果一覧（10月10日）

○全員賛成で可決した議案

※南雲まさ子議長は採決には加わらない。

議案等番号	議案名等
議案49	令和7年度松田町一般会計補正予算（第3号） ◎西平畑公園受入環境整備工事及び学校のネット環境に係る調査委託料に伴う補正

△賛成・反対があった議案

○…賛成 ●…反対 可…可決

議案等番号	議員名(議席順) 議案名等	審議結果	北村和士	武尾哲治	吉田功	中津川定雄	秋田谷光彦	古谷星工人	平野由里子	田代実	井上栄一	飯田一	寺嶋正
議案48	工事請負契約の締結について（令和7年度寄・里の駅等整備工事） ◎関野・計画環境建築特定建設工事共同企業体と2億2千万円で契約するためのもの	可	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○

○報告

議案等番号	議案名等
報告11	専決処分の報告について（松田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例） ◎町長の専決処分事項に関する条例の規定により、児童福祉法等の一部改正に伴う条例改正の報告

第4回 松田町議会臨時会審議結果一覧（11月27日）

○全員賛成で可決した議案

※南雲まさ子議長は採決には加わらない。

議案等番号	議案名等
議案50	松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ◎人事院勧告に準じた条例改正
議案51	令和7年度松田町一般会計補正予算（第4号） ◎条例改正に伴う人件費等の補正予算
議案52	令和7年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） ◎条例改正に伴う人件費等の補正予算
議案53	令和7年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第2号） ◎条例改正に伴う人件費等の補正予算
議案54	令和7年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） ◎条例改正に伴う人件費等の補正予算
議案55	令和7年度松田町上水道事業会計補正予算（第2号） ◎条例改正に伴う人件費等の補正予算
議案56	令和7年度松田町下水道事業会計補正予算（第1号） ◎条例改正に伴う人件費等の補正予算

議案第48号 工事請負契約の締結について (令和7年度寄・里の駅等整備工事)【討論】

反対討論

吉田 功 議員

私は、「議案第48号 工事請負契約の締結について」を反対の立場で討論を行います。

寄休養村管理センターの整備工事については理解できます。管理センターの整備のひとつの考え方は支所機能や診療所機能を強化する考え方もあります。しかし今回の改修はスポーツツーリズム戦略として進められているものと理解しますが、みやまグラウンドをサッカー場として使うのであれば、必要な施設はトイレ・更衣室・シャワー・会議室です。サッカーの試合は審判も含めると30名程度の参加者が考えられます。大会等が開催された場合は数百人のこともあるでしょう。今回の設計でその人数が試合終了後に汗を流す施設として対応ができますでしょうか。着替えが対応でき

る更衣室の広さがありますでしょうか。さらに、銭湯経営は都心においてもたいへん困難な状況であることは言うまでもありません。健康福祉センターの浴場については、入浴収入は年間450万円、支出は1700万円ほどと聞いています。浴場は入浴者がいなくても湯を張っていなくてはなりません。燃料費、水道料だけでなく人件費も必要です。これでは浴場の設定は指定管理者の経営を脅かします。スポーツ施設として必要なのは浴場ではなく、多数のシャワーです。浴場は地域の民宿等の民間施設に補助金を出して対応していただけたらいかがでしょう。

この契約は、設計の見直しを必要と考え、「議案第48号 工事請負契約の締結について」反対いたします。

反対討論

井上 栄一 議員

私は、「議案第48号 工事請負契約の締結について（令和7年度寄・里の駅等整備工事）」について、反対の立場で討論を行います。

この契約は、2億2000万円という契約であります。公募型プロポーザルによる一共同企業体との一社随意契約という契約方式をとっています。

当初予算では、寄自然休養村管理センター及び周辺整備として、3億2900万円という予算規模であり、予算の内訳では設計監理委託料も設けてあります。

自然休養村管理センターは大分古い建物であり、当時の設計書等が見当たらないと

いう事情は理解しますが、それならばなおさらしっかりと調査し、予定価格の基礎となる設計をしなければなりません。随意契約によるという説明も地方自治法施行令167条2に該当するという説明も該当しないと思います。

2億円を超える工事契約に対して、予定価格2億2000万円に対し見積額2億円という契約は不自然です。行政は、町民に対し適正な契約方式等で示すべきであります。

以上から、議案第48号工事請負契約の締結について（令和7年度寄・里の駅等整備工事）には、強く反対します。



住みやすい町を目指して… ⑥1

住みやすい町 まずは自分から動く

足柄ロータリークラブ 会長 ^{えんどう ひでき} 遠藤 秀樹さん(町屋在住)

現在足柄ロータリークラブ会長を務めております。県西地域1市5町に在住または勤務する企業・事業所の代表者約30名が集い、奉仕の理念のもと地域貢献活動を行っております。

本年度は新たな試みとして、足柄上病院とのコラボレーションによる地域イベントを2025年10月に開催いたしました。医療や病院の役割、SDGsを身近に感じていただくことを目的としたこの企画には、予想を上回る300名を超える来場があり、地域と医療をつなぐ意義深い機会となりました。また、10数年前から継続している植林活動や、地域小学校への図書寄贈も、次世代を見据えた大切な事業として続けております。

私は結婚を機に松田町に住みました。小田急線の急行が停車する新松田駅をは

じめ、鉄道や道路交通の利便性の高さは、日々の生活や通勤・通学において非常に大きな魅力であり、町の価値を高める重要な要素だと感じています。



そうした環境の中で、地域のスポーツ団体やPTA活動、青少年指導、スポーツ推進委員、部活動指導などに携わる中で、多くの方々との出会い、信頼関係を築いてきました。

こうした人とのつながりこそが、安心して暮らせる住みやすい町の基盤であると実感しております。



少子化など地域課題が山積する今こそ、ロータリー活動や地域活動で培った経験とつながりを生かし、近隣地域とも連携しながら、住みやすい町を次世代へ引き継いでいきたいと考えております。

「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体で、このコーナーに掲載して下さる方を募集しています。希望される方は下記までご連絡ください。

**令和8年 第1回定例会は
3月3日(火)開会予定**
ぜひ、傍聴にお越しください。
発熱等症状がおありの方は、ご遠慮ください。

議会広報広聴常任委員会
委員長 武尾 哲治
副委員長 寺嶋 正
委員 飯田 一
委員 南雲 まさ子
委員 秋田 谷光彦
委員 吉田 功

さて12月議会では9名の議員の一般質問と14議案の審議結果を載せました。特に、寄自然休養村管理センター施設の利用料金の改定が注目記事です。議会広報広聴常任委員会では、より開かれた議会をめざし、分かりやすい内容にしていきたいと思っております。今年もよろしくお願ひします。

(寺嶋)

編集
あとがき

